

脱炭素の「見える化」の推進について（今後の進め方）

令和4年3月1日
農林水産省環境バイオマス政策課

資料4

2020年度

・脱炭素化技術の紹介資料の作成

○生産現場の脱炭素技術等を収集・整理(65事例)

○主な脱炭素技術の概要、効果等(7事例)

事例番号	生産現場	技術名称	効果	脱炭素技術の概要、効果等(7事例)
1	水稲栽培	水稲栽培における中干し期間の延長・断根連作	水稲栽培における中干し期間の延長・断根連作により、CO2削減効果が期待される。	水稲栽培における中干し期間の延長・断根連作により、CO2削減効果が期待される。
2	水稲栽培	水稲栽培における中干し期間の延長・断根連作	水稲栽培における中干し期間の延長・断根連作により、CO2削減効果が期待される。	水稲栽培における中干し期間の延長・断根連作により、CO2削減効果が期待される。
3	水稲栽培	水稲栽培における中干し期間の延長・断根連作	水稲栽培における中干し期間の延長・断根連作により、CO2削減効果が期待される。	水稲栽培における中干し期間の延長・断根連作により、CO2削減効果が期待される。
4	水稲栽培	水稲栽培における中干し期間の延長・断根連作	水稲栽培における中干し期間の延長・断根連作により、CO2削減効果が期待される。	水稲栽培における中干し期間の延長・断根連作により、CO2削減効果が期待される。
5	水稲栽培	水稲栽培における中干し期間の延長・断根連作	水稲栽培における中干し期間の延長・断根連作により、CO2削減効果が期待される。	水稲栽培における中干し期間の延長・断根連作により、CO2削減効果が期待される。
6	水稲栽培	水稲栽培における中干し期間の延長・断根連作	水稲栽培における中干し期間の延長・断根連作により、CO2削減効果が期待される。	水稲栽培における中干し期間の延長・断根連作により、CO2削減効果が期待される。
7	水稲栽培	水稲栽培における中干し期間の延長・断根連作	水稲栽培における中干し期間の延長・断根連作により、CO2削減効果が期待される。	水稲栽培における中干し期間の延長・断根連作により、CO2削減効果が期待される。

委託先：(一社)サステナブル経営推進機構

2021年度(予定)

・農産物のGHG簡易算定シートの作成 (コメ、野菜数品目で試行)

活動量(地域の標準・生産者の実績)を入力 × GHG原単位 = GHG排出量				
項目(例)	地域の基準値 (kg/10a)	生産者の実績 (kg/10a)	GHG原単位 (kgCO2)	GHG排出量 (kgCO2/10a)
燃料	○	○	×	×
電力	○	○	×	×
肥料	○	○	×	×
農薬	○	○	×	×
資材	○	○	×	×
中干し延長	-	-	×	×
バイオ炭	-	-	×	×

・見える化ガイド(案)の作成

(脱炭素の見える化に取り組む生産者・流通事業者向けガイド)

内容	方法	媒体
・GHG排出量・削減量 (製品ベース・事業者ベース) ・GHG削減効果 (標準比、経年比、自社比)	・数字による表示(●kg排出・削減) ・基準適合(●割以上削減) ・定性的な説明 (従来品に比べて削減、脱炭素を実施)	・商品(ラベリング、QRコード) ・店頭(値札、POP・ポスター) ・ウェブ(スマホアプリ、HP)

委託先：(一社)サステナブル経営推進機構

フードサプライチェーンの環境調和推進事業

(令和4年度予算：246百万円の内数)

・見える化の実証

(全国10か所程度で委託により実証) ※消費者庁と連携

↓

- ・簡易算定シートの操作性、実効性等を検証
- ・「見える化」による消費者への効果の検証

↓

- ・簡易算定シートの改良・品目拡充
- ・見える化ガイド(案)の改定(内容精査・事例紹介の追加)



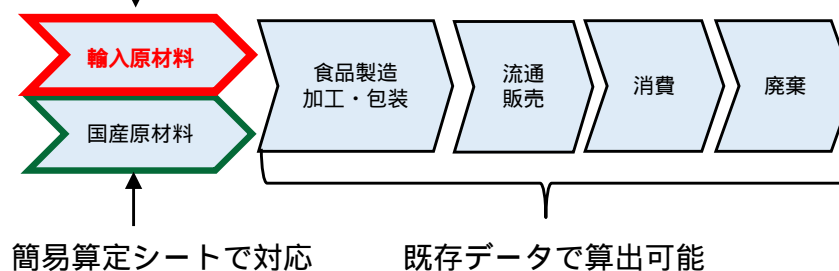
+

輸入に係る見える化の課題整理等

※環境省と連携

(輸入原材料のGHGの把握・削減など)

「持続可能な食料生産・消費のための円卓会議」において議論



< 対策のポイント >

温室効果ガスの削減や生物多様性の保全に向けては、農山漁村における取組に加えて、生産から消費・廃棄に至るフードサプライチェーンの各段階が協働し、投資家や消費者を巻き込んで進めていく必要があることから、情報開示や環境負荷軽減の「見える化」を促進する取組、消費者を含むステークホルダーの理解と行動変容を促進する取組を実施します。

< 事業の内容 >

1. 脱炭素型フードサプライチェーンの「見える化」の推進

- 生産者の脱炭素に向けた努力・工夫による削減効果の算定、気候関連リスク・機会の情報開示について、事例調査、実証、手引きの作成等を実施します。

2. フードサプライチェーンにおける生物多様性保全等の推進

- 農林水産業における生物多様性保全の見える化の検討を促進するための状況調査等を実施します。

3. 持続可能な食料システム構築支援事業

- 認証以外の持続可能な調達・生産・流通・販売を担保する方法（ブロックチェーンを活用したトレースや生産者と消費者を直接つなぐ仕組み等）の検討と実証を実施します。
- 国内の優良事例を調査・創出する取組を実施します。

4. 持続可能な食料システム新市場創出支援事業

- 持続可能な食料システムの構築の実現に向けて、サステナブル商談会、農林水産業の持続可能性や環境保全につながる食の選択について意見交換会等を開催し、サプライチェーンの各段階の協働を促進する取組を実施します。

5. グリーン政策等調査分析事業

- 諸外国のグリーン化に係る動きを適時適切に調査・分析する体制を構築します。

< 事業の流れ >



< 事業イメージ >

